

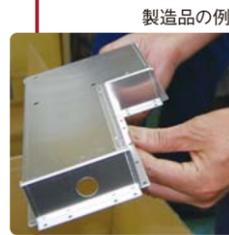
# 生産管理クラウド導入

中小企業IT経営力大賞2013・ITコーディネータ協会会長賞受賞

## 板金のプロとして試作から量産まで生産力をさらに高める時間の使い方とは？

京都府京都市・精密板金加工業 ● 広瀬製作所の場合

世界的な歴史と観光の都・京都。京都駅から電車ですぐから駅の西ノ京地区には、島津製作所や町工場など、ものづくり企業が集積している。この一角に本社工場を構える広瀬製作所は、精密板金を得意とする企業だ。



製品例

### 会社概要

#### 株式会社広瀬製作所

- 設立：1959年（創業1949年）
- 従業員数：15人
- 事業内容：精密板金加工の試作、量産 [板金加工コンシェルジュ]
- URL：http://www.hirose-kyoto.co.jp
- Facebookページ https://www.facebook.com/bankin.hirose



「大量生産は海外へ、大手メーカーの量産品は価格競争となるなかで、創業当時の金属プレス加工

から精密板金加工へ、さらに試作へと事業領域を移してきました」  
2代目経営者となる広瀬安行氏は会社の歩みをこう説明する。

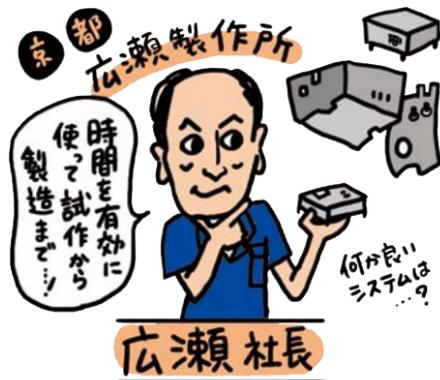
### 顧客本位の姿勢で信頼を獲得

同社は3D-CADを導入し、設計面の矛盾を事前に解消したり、専用金型並みの簡易金型製作技術を持つことにより、製造ロスの低下やコストダウンを実現し、顧客からの評価を得ている。また、新製品を試作から手掛けられることにより、新製品の立ち上げや量産品の受注につながっているという。試作ビジネスで求められるのはスピードだ。

メーカーは、いち早く新製品を市場に投入するため、納期を重要要件とするのである。ただ、受注は1日200件以上あり、受注内容を手入力で登録し、プリントされた内容と在庫を参照して生産計画を立てているため、受発注の処理や生産管理に手間取っていた。納期が延びたり、新しい仕事を断らざるを得ないなど、機会損失の場面もあったという。「従業員が現場で創意工夫した技術力を発揮できる部分にできるだけ時間を投下したい。そのためには業務の流れを整理する必要がある」と考えた広瀬社長は、公益財団法人京都産業21が主催する研修会に足を運んだのだ。

### クラウドの「今」を知り現場に即したシステムを選ぶ

参加した研修会はITコーディネータ坂田岳史氏が講師を務める「クラウド・SaaS研究会」。クラウドの実際を学び、坂田氏が支援した京都府・田中精工のクラウド型生産管理システムを見学することを通じて、同社が外販も行っている「PT-SaaS」が自社にも有効であると感じた。「PT-SaaS」はユーザー企業が自ら開発したため現場のニーズに即していることが特徴。月額数万円程度の利用料金制であり（別途初期費用が必要）、社内



広瀬社長

にサーバーの設置も不要なため、コストや運用面でも検討しやすかったという。

そこで、2011年春より、導入に向けプロジェクトをスタート。坂田氏とともに業務分析を行い、「PT-SaaS」の適用や、カスタマイズが必要な個所の抽出などを行った。同年9月に、稼働を開始した。坂田氏は「生産計画を担当する部長さんと業務改革について相談

しながら、効率が良くなる使い方をアドバイスしつつ、独自の部分の要件定義を行いました」と導入までの様子を説明する。

### 経常利益が前年比4倍多くの受注をこなせる体制に

広瀬製作所では、新規顧客の開拓にWebサイトやFacebookなどを積極的に活用。最近では、板金に詳しい担当者がいない会社の相談相手となる「板金加工コンシェルジュ」のコンセプトを打ち出し、顧客対応力を高めて電機系のベンチャー企業などとの良好な関係づくりを実現している。

この結果、2012年度は経常利益が前年度比4倍



工場の製造風景



代表取締役社長 広瀬安行氏



事務所で、受注から製造実績までをパソコンで確認可能に

### ○サポーター紹介



ITコーディネータ  
中小企業診断士 坂田岳史氏  
有限会社ダイコンサルティング  
代表取締役  
http://www.daiconn.co.jp/

京都を基盤に活動。ITコーディネータ、中小企業診断士、ITストラテジストの資格を併せ持ち、企業のIT経営を支援する「IT経営コンサルタント」として活躍している。支援企業が毎年のように中小企業IT経営力大賞に入選している。広瀬製作所が採用した「PT-SaaS」を開発した田中精工も坂田氏の支援先企業である。その縁で、坂田氏自身が同サービスの販売も担っている。

支援においては、業務の流れを理解し、サービス内容を知り尽くしている立場から使い方やカスタマイズが必要な部分の抽出などを行った。

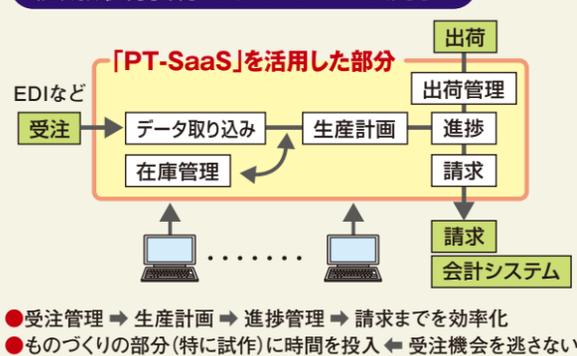
広瀬社長は、「自分たちだけで社内システムを検討していたら、おそらくまだできていなかったでしょう。今回のように一緒に形にしていく方法や、トータルでシステム化することは非常に大事だと感じました」と感想を話す。

坂田氏は、多くの支援実績をもとに、経営者に向けて次のようにアドバイスする。

「まずはITで何ができるかを知ったうえで、大きな視点をもってITを自社のどこに活用すれば効果が出るかを考えていただきたい。経営者の方の決意があれば、IT経営の取り組みについて、適切なご指導をさせていただき、効果を上げることができま

す」  
ITの進化も競争環境の変化である。大きな流れをつかみ、専門家から適切なサポートを受けるようにしたいものである。

### 広瀬製作所のシステムの流れ



なったクラウド時代は、独自の光を放つ小規模企業にとって、まさにチャンス到来である。